

タカラ システムバス 排水口（洗い場側） 取扱説明書

このたびは、「タカラ システムバス」をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書はシステムバス本体に付属の取扱説明書と異なる部分について説明しています。ご使用の前にこの取扱説明書とシステムバス本体に付属の取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

また、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

1. 特に注意していただきたいこと

「安全のために必ずお守りください。」

- ◎ご使用の前に、この「特に注意していただきたいこと」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◎ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠ 注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
-------------	---

◎絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	行ってはいけない 「禁止」の内容です。		必ず実行していただく 「強制」の内容です。
--	------------------------	--	--------------------------

※転居される場合は、新しく入居される方が製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書を新しく入居される方、または取次ぎされる方にお渡しください。

タカラスタンダード株式会社

1. 特に注意していただきたいこと（つづき）

⚠ 注意

- ヘアキャッチャーや洗場目皿（排水口ふた）は所定の位置におさめて使用してください。
髪の毛やゴミが排水トラップに流れ込み、下水管が詰まる原因になります。



- 洗場目皿（排水口ふた）に乗ったり、体重を掛けたりしないでください。
転倒したり、部品が破損してけがをするおそれがあります。



- ヘアキャッチャーに髪の毛やゴミがたまつたままで使用せず、こまめにお手入れしてください。
目詰まりし、排水能力が低下し、床面に水があふれたり、悪臭の原因になります。



- インナーが外れている場合は、インナーを正しく取り付けてください。
臭気・害虫の侵入やガスにより金属・メッキ部品のサビの原因となります。



- 取り除いたゴミ等は直接排水トラップに流さないでください。
下水管が詰まる原因になります。



- 排水トラップの水（封水）が蒸発等により減少または無くなっている場合は、排水トラップに水をためてください。
排水トラップの水がなくなると、臭気・害虫の侵入やガスにより金属・メッキ部品のサビの原因となります。



- トラップに強酸・強アルカリの薬品や殺虫剤、シンナー、アセトンなどの溶剤を流さないでください。
トラップや排水管が破損し、漏水するおそれがあります。



- トラップ本体をゆるめないでください。
水漏れ事故につながります。



2. お手入れ方法

ヘアキャッチャー や ト ラップに髪の毛やゴミがたまると排水能力が低下し、床面に水があふれたり悪臭の原因になりますので、次の手順でこまめにお手入れしてください。

- ①洗場目皿（排水口ふた）をはずします。
- ②ヘアキャッチャーの取っ手を持ち上げ、たまっている髪の毛やゴミなどを取り除きます。
- ③排水トラップにも髪の毛やゴミなどがたまっていたり、汚れている場合にはインナーを左に回してはずし、中にたまっているゴミ等や汚れを取り除いてください。取り除いたゴミ等は排水トラップに流さないでください。下水管が詰まる原因になります。
- ④インナー、パッキン、ヘアキャッチャー、洗場目皿（排水口ふた）を元通りに取り付け、バケツ一杯くらいの水を流してください。



取り付けの際は、所定の位置に正しく取り付けていただくためにも、次項の「取り付け時のお願い」をご覧ください。

※目皿、トラップ内部品、排水口は、タイプによりいずれかの組合せになります。

目皿	洗場目皿	排水口ふたA	排水口ふたB
トラップ内部品	深型タイプ 取っ手 深型ヘアキャッチャー インナー このゴム部材は脱着可能です。 引き抜いて清掃してください。 インナーパッキン	浅型タイプA 取っ手 浅型ヘアキャッチャー インナー(パッキン付) 防臭オワン	浅型タイプB 取っ手 浅型ヘアキャッチャー インナー(パッキン付)
排水口	丸型タイプ トラップ本体	角型タイプ トラップ本体	

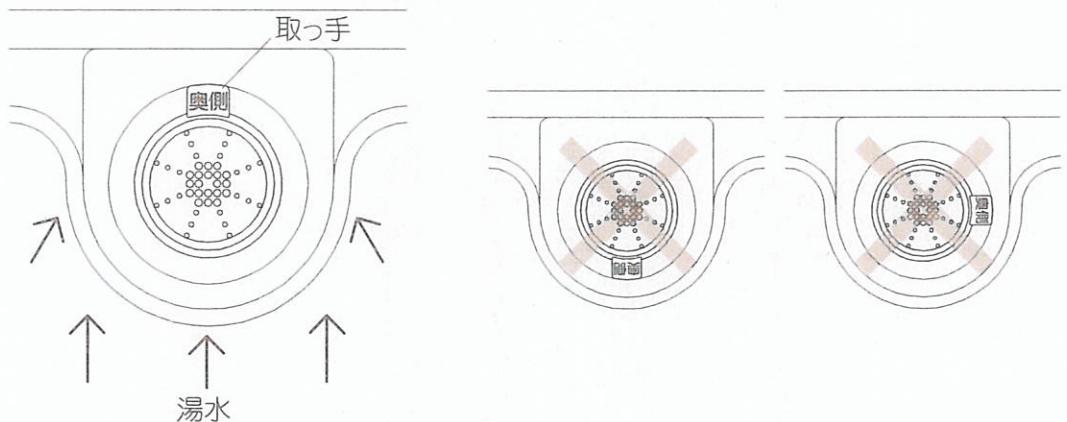
3. 取り付け時のお願い

①ヘアキャッチャーは取っ手が奥側になるよう取り付けてください。

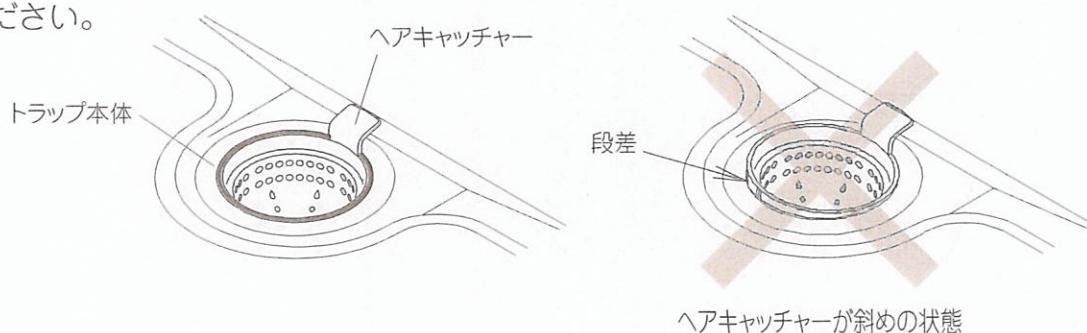
※取っ手を奥側にすることで、洗場目皿（排水口ふた）に取っ手が当らないようにしています。

また、髪の毛が取っ手にひっかかりにくくなります。

※ヘアキャッチャーを回してロックする必要はありません。

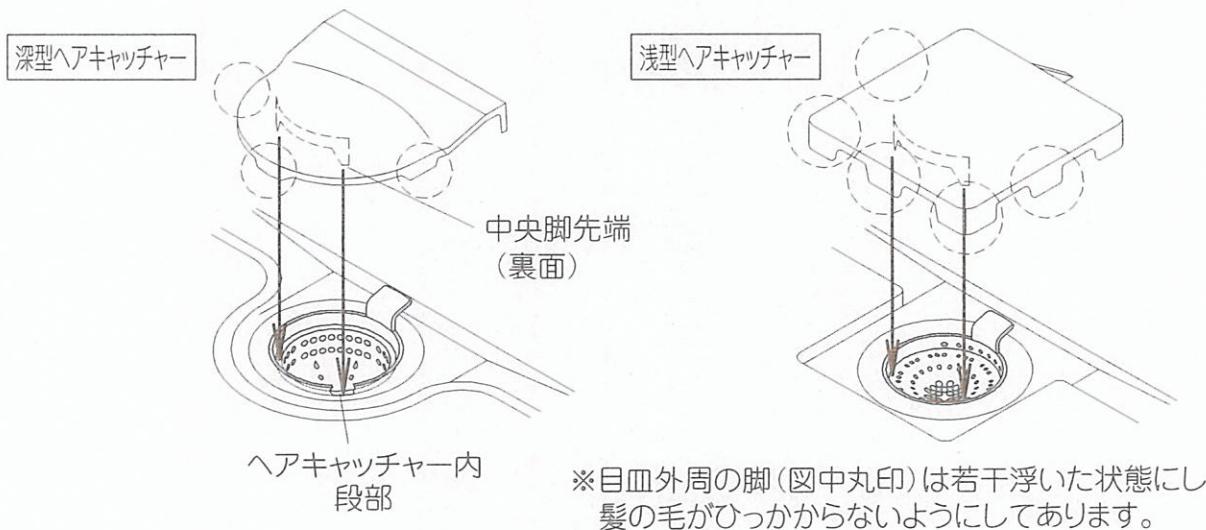


②ヘアキャッチャーとトラップ本体の間（下図太線部）にすきまや段差が出ないように取り付けてください。



ヘアキャッチャーが斜めの状態

③洗場目皿（排水口ふた）に中央脚がある場合は、中央脚の先端がヘアキャッチャー内部の段部に乗るように、洗場目皿（排水口ふた）を取り付けてください。



※目皿外周の脚(図中丸印)は若干浮いた状態にし
髪の毛がひっかかるないようにしてあります。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

TEL 06-6962-1531

10153848